

★習近平外交思想を提示＝中央外事活動会議での講演（要旨）

中国紙「人民日報」2018年6月24日付は、中国の中央外事活動会議が6月22、23の両日、北京で開催され、習近平総書記が演説し、「習近平外交思想」が提起された、と報じた。同記事の見出しは、「習近平、中央外事活動会議で強/新時代の中国の特色ある社会主義外交思想による指導を堅持し 努力して中国の特色ある大国外交の新局面を切り開こう」。李克強が司会し、栗戦書、汪洋、王滬寧、趙楽際、韓正、王岐山が出席した。以下は習近平総書記の演説の要旨。

わが国の対外活動では、新時代の中国の特色ある社会主義外交思想を導きとすることを堅持し、国内・国際の二つの大局を統一的にとらえ、民族復興への奉仕と人類の進歩促進という主軸をしっかりとつかみ、人類運命共同体の構築を促し、国家主権、安全保障、発展の利益を揺るぎなく守り、グローバルガバナンス・システムの改革に積極的に参加・けん引し、より完全なグローバル・パートナーシップのネットワークを築き、中国の特色ある大国外交の新局面の開拓に努めて、ややゆとりのある社会の全面建設、さらには社会主義近代化強国の全面建設のために有利な条件をつくり、しかるべき貢献をしなければならない

第18回党大会以来、党中央の強固な指導の下、めまぐるしく変化する国際情勢を前にして、わが国の対外活動は堅塁を攻略して困難を克服し、自らを鍛えつつ前進し、怒濤のような勢いで、中国の特色ある大国外交を開拓的に推進し、多くのリスクと試練を経験し、少なくとも大きな戦いや難しい戦いに勝利し、少なからぬ大事業や困難な事業をやりとげ、歴史的な成果を収めてきた。実践の中で、われわれは有益な経験と深い体得を蓄積し、対外活動では国内・国際の二つの大局を統一的にとらえることを堅持し、戦略的自信を堅持し、戦略的精神力を保持し、外交理論・実践の刷新推進を堅持し、戦略的計画と全世界的配置を堅持し、国家の核心かつ重大な利益を守ることを堅持し、協力・ウィンウィンと道義・利益の結合を堅持し、ボトムライン思考とリスク意識を堅持しなければならない。

第18回党大会以来、われわれは新時代の中国と世界の大勢を深くつかみ、対外活動で一連の重要な理論的・実践的刷新を行い、新時代の中国の特色ある社会主義外交思想をつくりあげた。概括すると主に次の10の側面がある。①党中央の権威の擁護を第一にして対外活動に対する党の集中・統一指導を強化することを堅持する。②中華民族の偉大な復興の実現を使命として中国の特色ある大国外交を推進することを堅持する。③世界平和の擁護、共同の発展の促進を目的にして人類運命共同体の構築を促すことを堅持する。④中国の特色ある社会主義を根本にして戦略的自信を強めることを堅持する。⑤ともに協議し、ともに建設し、ともに享受することを原則にし

て「一帯一路」建設を推進することを堅持する。⑥相互尊重、協力・ウィンウィンを基礎にして平和的発展の道を歩むことを堅持する。⑦外交の布石の深化に依拠してグローバルなパートナーシップを築くことを堅持する。⑧公平・正義を理念としてグローバルガバナンス・システムの改革を導くことを堅持する。⑨国家の核心的利益をボトムラインにして国家主権、安全保障、発展の利益を守ることを堅持する。⑩対外活動の優れた伝統と時代の特徴との結合を方向性にして中国外交の独特な風格をつくりあげることが堅持される。われわれは新時代の中国の特色ある社会主義外交思想を全面的に貫徹・実行し、中華民族の偉大な復興という中国の夢の実現、人類運命共同体の構築のために、たえず良好な外部条件を創造しなければならない。

国際情勢を把握するには、正しい歴史観、大局観、役割観を確立しなければならない。いわゆる正しい歴史観とは、現在の国際情勢がどうかを見るだけでなく、歴史の望遠鏡を手にとって過去を振り返り、歴史の法則を総括し、将来を展望し、歴史前進の大勢を把握することにほかならない。いわゆる正しい大局観とは、現象や細部がどうかをみるだけでなく、本質と全局を把握し、主要な矛盾と矛盾の主要な側面をつかみ、数多く、めまぐるしく変わる世界の混乱現象の中で方向を見失わず、根本を忘れて末節にとらわれるのを避けることにほかならない。いわゆる正しい役割観とは、さまざまな国際現象を冷静に分析するだけでなく、自分をその中に置いて、わが国と世界の関係の中で問題をとらえ、世界の枠組みの変化におけるわが国の地位と役割をはっきりさせ、わが国の対外方針・政策を科学的に策定することにほかならない。いま、わが国は近代以来の最良の発展期にあり、世界は100年に一度とない大変動の中にあり、両者が並行・交錯し、相互に揺れ動いている。当面と今後一時期の対外活動をうまく進める上で、多くの有利な国際的条件が備わっている。

第19回党大会から第20回党大会までは、「二つの100年」の奮闘目標を実現する歴史的な合流期〔第一の100年目標を実現し、第二の100年目標に着手する時期〕であり、中華民族の偉大な復興の歴史過程の中で特別に重要な意義がある。人類の歴史を見わたすと、世界の発展はこれまでもさまざまな矛盾が相互に交錯し、相互に作用した総合的結果である。われわれは世界の転換・過渡期における国際情勢の変化の法則を深く分析し、歴史的合流期におけるわが国の外部環境の基本的特徴を正確につかみ、対外活動を統一的に計画、推進しなければならない。世界の多極化が加速・推進される大勢をつかむとともに、大国関係が深い調整態勢にあることを重視しなければならない。経済のグローバル化が持続的に発展する大勢をつかむとともに、世界経済の枠組みの深い変化の動向を重視しなければならない。国際環境の総体的安定の大勢をつかむとともに、国際安全保障への試練が複雑に絡み合う局面を重視しなければならない。さまざまな文明の交流、相互学習の大勢をつかむとともに、異なる思想・文化が互いに激しく揺れ動く現実を重視しなければならない。

対外活動は党中央の統一的手配にもとづき、計画・配置を強化し、活動の重点を突出させ、しっかり取り組まなければならない。党と国家の活動の重要な節目を軸にして、対外活動の新局面をたえず切り開くようにしなければならない。今後5年で、第一の100年の奮闘目標が実現し、第二の100年の奮闘目標が始動しなければならない。その間に一連の重要な時間の節目と重大な活動がある。対外活動はこれを座標とし、全面的に考慮し、段階的に推進し、全体的に配置するとともに重点を突出させ、多くのポイントで事業を進めるとともにピンポイントで注力し、総合的・積極的效果を発揮させなければならない。人類運命共同体構築の旗印を高く掲げ、グローバルガバナンス・システムがより公正で合理的な方向へと発展するよう促さなければならない。ともに協議し、ともに建設し、ともに享受することを堅持し、「一带一路」建設が着実かつ深く進み、安定して長続きするよう促し、対外開放が新たな段階へと進むよう推進しなければならない。大国関係をうまく計画して、全体として安定し、バランスよく発展する大国関係の枠組み構築を推進しなければならない。周辺諸国外交にしっかり取り組み、周辺環境がより友好的で、より有利になるよう促さなければならない。発展途上国との団結・協力を深化させ、手を携えて進み、ともに発展する新局面の形成を推進しなければならない。広範な発展途上国はわが国の国際関係における生来の同盟軍であり、道義と利益に関する正しい観点を堅持し、発展途上国との団結・協力の大事な仕事にしっかり取り組まなければならない。中国と世界とのより深い交流、相互学習を深く推進しなければならない。

外交は国家の意志を集中的に現したものであり、外交の大権が党中央にあることを堅持しなければならない。政治意識、大局意識、核心意識、一致意識を強め、党中央の権威と集中・統一指導を断固守り、自覚的に思想面・政治面・行動面で党中央と高度の一致を保ち、法令の厳格な執行を確実にし、歩調を一致させなければならない。対外活動は一つのシステム工学であり、政党、政府、人民代表大会、政治協商会議、軍隊、地方、民間などは統一・協調を強め、それぞれが重点を定め、相互に連携し、党が全体を統括し、各方面を調整する対外活動の大きな協同の局面をつくり、党中央の対外方針・政策と戦略配置が確実に実行に移されるようにしなければならない。

政治路線の確定後は、幹部こそが決定的要素である。党に忠実で、国家に忠実で、人民に忠実で、政治的にしっかりし、業務に精通し、試練にたえ、規律に厳しい対外活動の隊列を建設しなければならない。理想・信念の教育を強化し、外事幹部の隊列の専門能力と総合的資質を高めなければならない。在外要員の勤務・生活条件を改善し、彼らの後顧の憂いを解決するために、党中央の配慮を確実に実行に移さなければならない。

対外活動の体制・メカニズム改革は、国家ガバナンス・システムとガバナンス能力の近代化を推進する内在的 要求である。党中央の統一的手配にもとづいて、対外活 動の体制・メカニズム改革を実行に移し、在外機関の党 建設を強化し、新時代の要求にかなう在外機関の管理体 制をつくりあげなければならない。（以上）